

「オリックス・バファローズ ファン増加策」を 同球団へ提案する4大学共同プレゼン演習

～ 関関同立の「広告論」ゼミ生約80名が授業の一環として実施～

日時: 10月21日(土)午後1時～午後6時 場所: 関西大学千里山キャンパス 第3学舎

関西4大学(関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学)の社会学部(立命館大学は産業社会学部)の「広告論」ゼミ受講生が、10月21日(土)午後1時から午後6時の間、「オリックス・バファローズのファン増加策」を課題に、ゼミ生約80名による共同プレゼンテーション演習を関西大学千里山キャンパスで行います。

当日は、オリックス野球クラブ株式会社社長室のご担当者も演習に参加され、学生が企画したプレゼンテーション内容について評価・講評をしていただきます。

今回のプレゼンテーション演習は、関関同立の「広告論」担当教員により、授業(ゼミ、専門演習)の一環として、学生にとってより身近なテーマ設定を取り入れたいと企画されたもので、オリックス野球クラブ株式会社社長室の協力により実現しました。

課題の「オリックス・バファローズ ファン増加策」は、オリックス・バファローズ広報室から提案され、去る9月8日付でゼミ生たちに与えられました。エリア的に阪神タイガースと競合するなかで、「10代後半および20代前半(特に学生・女性)」のファン層拡大という現実的なマーケティング課題について、所属大学における球団の効果的なプロモーションを検討するという、学生たちにとっても比較的取り組みやすい内容で、ビジネス現場に近い、より実際的な演習といえます。

つきましては、当日は取材をしていただくことも可能ですので、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

関関同立「広告論」ゼミ生による共同プレゼンテーション演習

- 日 時 : 2006年10月21日(土) 午後1時~午後6時
- 場 所 : 関西大学千里山キャンパス 第3学舎4302教室
大阪府吹田市山手町3-3-35 (阪急千里線「関大前駅」から徒歩約7分)
- 協 力 : オリックス野球クラブ株式会社
- 演習課題 : 「オリックス・バファローズ ファン増加策」
- 講 評 : オリックス野球クラブ株式会社社長室
- 参 加 者 : 関関同立の社会学部(立命館大学は産業社会学部)の「広告論」ゼミ所属3年生
約80名
- 担当教員 : 水野由多加・関西大学社会学部教授
(専門分野: 広告研究、マーケティング・コミュニケーション)
難波 功士・関西学院大学社会学部教授
(専門分野: 広告の社会史、文化社会学、メディア文化論)
青木 貞茂・同志社大学社会学部教授
(専門分野: 広告論、情報行動論)
小泉 秀昭・立命館大学産業社会学部教授
(専門分野: 広告論)

オリックス・バファローズからの課題(抜粋)

現在、オリックス・バファローズにおける観客動員数はリーグ12球団中5位であるものの、球界のガリバーである阪神タイガースとのエリア的な競合もあり、「10代後半および20代前半(特に学生・女性)」の顧客層が弱い。今後の球団の課題は、ウィークポイントである「10代後半および20代前半(特に学生・女性)」の顧客層をどう攻め、来場者数の増加に繋げていくかにある。

このたび、当該課題に取り組む広告論のゼミ生は、まさに球団のウィークポイントである「10代後半および20代前半(特に学生・女性)」の顧客層に属している。ついては、他の学生(在学)の嗜好や行動パターン等も分析のうえで、より効率的に、学生がオリックスの試合に足を運んでくれるようなマーケティング、広告、プロモーション手法をご提案いただきたい。

なお、ターゲットセグメントについては、単純に学生全体とするのも可能であるし、嗜好・行動パターンを分析したうえでの、より細かなセグメントをターゲットとしていただいても結構である。

ただし、あまりにも実現性に乏しいと参考にならないため、球団所属選手やマスコットを使った大学でのイベント実施や、球場における合コン、飲み会といったイベント企画、あるいはチーム所属の選手人事に関する意見等は提案から除くものとし、基本的には、現在の球団・球場運営等を変更することなく実行可能な施策を提案してほしい。